

×ãtuñã{ÅxÇà DL I GA EADD

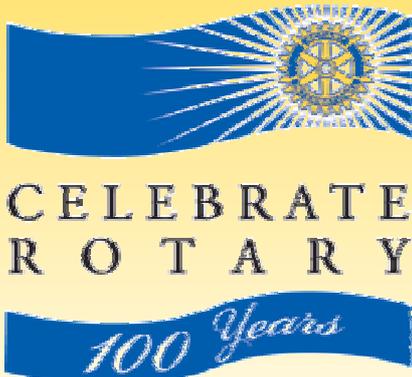


貝塚ロータリークラブ

kaizkarc@jasmine.ocn.ne.jp

http://www4.ocn.ne.jp/~k-rc/

2004～2005年度
国際ロータリーのテーマ



ロータリーを祝おう
100年の歩み

例会日 毎週火曜日
12:30～13:30

例会場 産業文化会館
1Fメインホール

事務局 〒597-0094
貝塚市二色南町4-7
産業文化会館3F
TEL (0724) 39-0215
FAX (0724) 39-0225

会長 藪内 伸泰

幹事 塔筋 重治

会場監督 古本 宏文

会報委員 奥田 稔
古本 宏文
大原 一浩

本日の例会

2011

2004年 11月 2日 第17回 例会

点 鐘
「君が代」斉唱
ロータリーソング
「奉仕の理想」

今週の歌 「虫の声」
ソングリーダー 大原一浩 会員

卓 話
「クラブフォーラム」
ロータリー財団月間
福井芳弘ロータリー財団委員長

「2003-04年度皆出席表彰」

点 鐘

次週の例会

2012

2004年 11月 9日 第18回 例会

家 族 会

百濟寺（湖東三山の紅葉見学）
八日市「招福楼」にて例会（昼食）
近江八幡水郷めぐり
鮎家の郷にてお買い物

産業文化会館 午前8時30分出發

四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

前回の例会記録

2004.10.26

16

ガバナー公式訪問

お客様のご紹介



国際ロータリー第2640地区

中島 治一郎 ガバナー

委員会報告



* 社会奉仕委員会

信 聖瑞 委員長

年初、地域活性化を目的に市内の幼稚園・小学校へ球根セットを贈呈する予定をしておりましたが、計画を一部変更して、近々貝塚3小学校へ各100セット寄贈することに致します。

会長報告



本日はガバナー公式訪問ということで、中嶋ガバナーが来会されました。ここ数年はガバナー補佐が代行されておりましたが、ガバナーが直接見られるのは、4年ぶりということで私自身大変緊張しております。ロータリアンとしても輝かしい実績をお持ちでこの後おこなわれますクラブ協議会も、的確なご指導がされるものと期待しております。

ところで先週土曜日に、新潟県中越地震が発生しました。本震は規模震度6強とのことですが、実際は震度7ではなかったという意見もごさいます。刻々と報道がされるのを見るにつけ、被災者のことを考えると心がいたみます。貝塚ロータリークラブとしてもじっとしてはられません。災害義援金は急を要しますので、地区でするのか、各クラブでするのか、後ほど中嶋ガバナーよりお話があるものと思います。

報告事項ですが、前回の例会で申し上げたとおり、例会後、次年度の理事・役員指名委員会を行いました。そのとき推薦された候補者を11月の理事会にはかり、クラブ細則にのっとり年次総会の1カ月前のクラブ例会で発表し、年次総会でもって承認を得る予定ですので、宜しくお願い致します。

* 会員増強委員会

大原 一浩 委員長

新会員候補者1名(女性)のご紹介があり、貝塚商工会議所専務理事にアポイントをお願い致しましたが、現在ソロプチミスト会員のため、現状は難しいとのことでした。これからも会員増強に向け皆様のご協力をお願い申し上げます。

幹事報告

本日例会終了後、この場所におきまして中嶋ガバナーをお迎えしてのクラブアッセンブリーを開催させていただきます。直接ガバナーからご指導頂けるチャンスですので全員参加で宜しくお願い致します。



出席報告

会員数 25名 出席義務会員 24名	
10月26日 出席会員 24名	100%
10月16日 MUを加えて	100%
本日の100%テーブル	ホームクラブ 100%出席

ニコニコ報告

- ☺ 中島ガバナー本日はようこそおいで下さいました。宜しくお願ひ致します
先日の南輪会ゴルフ大会で優勝致しました
.....奥田 稔 会員
- ☺ 中島ガバナーようこそお越し下さいました。本日は宜しくお願ひ致します
.....藪内 伸泰 会員
- ☺ 中島ガバナーようこそお越し下さいました。本日は宜しくお願ひ致します
.....塔筋 重治 会員
- ☺ 南輪会で飛賞に入りました
.....水谷 嘉男 会員
- ☺ 中小公庫クローバー会総裁杯とりきり優勝
.....畑野 恒 会員
- ☹ 前回欠席お詫び
.....尾道 博 会員
- ☹ 連続欠席お詫び
.....塩谷 一郎 会員

累計 437,771円

卓話

「ガバナー所感」

国際ロータリー第2640地区
ガバナー 中島 治一郎 様



私は1986～87年度に一度ガバナーを務めておりまして今回で2度目となり、間に18年あるわけですが、私の公式訪問に対する考えも随分変わって参りました。最初にやりました頃にはアメリカで国際協議会というものがあり、次期RI会長がガバナーを集め方針を伝えられまして、そして一週間缶詰の勉強をさせ、次期RI会長が次期ガバナーに「私ほどロータリーの事を解っているものはない」と洗脳され、その後PETSや地区協議会を開きそれを皆様に伝達していくということでした。今回は国際協議会も1日半おった状態で、この18年間の間で色々な事を学習し国際ロータリーの表も裏も全部解ってしまいました。地区というのは国際ロータリーの意を受けて地区にあるクラブの皆様方を指導したり押さえつけたりする立場では決してなく、クラブの皆様方が主役でその方々がやる気になられて活躍するのを補佐する役目がガバナーであると良く解りましたので、今回は皆様方の相談役的な役割を果たしたいと思い各クラブを廻らせて頂いております。今日が61クラブ目で今まで60クラブを廻り、皆様に「中島ガバナー、最近はお変わりになりましたね」とよく言われ、これは国際ロータリーの会長自身が国際ロータリーのあり方、地区のあり方につきまして非常に変わって来られたこともあります。これはビチャイ・ラタクルという昨年タイから出ました会長で、この方が初めて国際ロータリーの上から押さえつける組織ではなく、皆様方が活躍される場でなくてはならないと云われました。これは当然な話で、国際ロータリー120万人の会員がおられて、それを上で操るということは考えも出来ないことで、皆様方が一生懸命されるのを支えるのが当然の努めです。

(次ページへ続く)

ようやくこのことに国際ロータリーも気付きました。去年のアフリカから出ましたジョナサン・マジアベという初めての黒人の会長がそれを踏襲致しまして「草の根運動」と云っておりますが、皆様方を草の根と呼ぶのはいけないと、注釈をつけて念を押して云っており、皆さんが主役であるということを非常に強く主張されておりました。

今年のグレン・エステス会長は南部出身のアメリカ人ですが、この方は前任お二人より飛び抜けて皆さん方が主役であるというお考えです。素晴らしいアメリカ人で、私たちはロータリーで思いやりの普及運動をやっておりますが、本当に思いやり深い方です。100周年の国際ロータリー会長として非常に正しい方だと思っております。次はスエーデンから出て参りますカール・ヴィルヘルム・ステンハマー氏ですが、この方もすでに逆三角形のイメージをされておられまして皆さん方が主役とはっきり申しておられます。この方が大阪国際大会に来られました時に、私がジョナサン・マジアベ会長に頼まれてずっと面倒を見ておりましたので性格も随分解り、本当に心から皆さん方が主役と思っておられます。

その次にR I会長をされますウィリアムB・ボイルさん。この間の9月の10日過ぎに会長と決まり、この方は今私がやっております国際ロータリーの監査運営審査委員会で今まで過去4年間一緒に委員をやっておりまして、6年委員会ですのもう2年一緒にやります。一緒に4年間仕事をしてきて良く解っており、この方は民主主義主張型の方で皆さん方に是非頑張ってもらいたいから支えと申しております。5年も続いてこういう考え方が主張されると国際ロータリーに根付く訳でありまして素晴らしい事だと思っております。この地区でも私は盛んに皆さん方が主役ですから、各クラブで自主的な活動を実施して頂きたいと初めから主張しております。中には今まで通り国際ロータリー会長が目標をたてられて地区も目標をたてられて具体的な目標を示して貰った方がやりやすいというクラブも沢山ございます。自主的にやれと言われても戸惑ってしまうというクラブもございますが、自主的な判断で各クラブがこういう形で自分のクラブは進めたいという考えでお進めになるのが至当だと思います。たまたま今年はロータリー100周年でございまして、これはまたとない貴重な機会で、貝塚RCの様に41年間もの歴史を持っておられるクラブも一度過去を振り返って頂いて、貝塚RCのよい所を延ばし、悪い所を正すという検討の中で、改めてどういう形の貝塚RCとして足を踏み出すか再検討頂き、新しい貝塚RCの形というものをお定め頂きたいと念じております。それは例えばこれ位の会員数でこういう同士を迎えて、こういう奉仕活動に力を入れて進んで行こうではないかということを中心に色々な事を皆さん方でご協議頂き、貝塚RCを育てて頂きたいと思っております。今まで60クラブ廻りましてそれぞれのクラブにそういうお願いをして参りました。100周年という機会だからそういう事も一度やってみよう云々下さるクラブも多く、貝塚RCに於かれましてはご協議頂きたいとお願い致します。

今年のR I会長グレン・エステスさんが私を通じまして皆様方にお伝えをしてほしいという項目が3つございませぬ。その1番目は会員増強です。

これは120万を有する組織が、いい仕事をしてると確信すればする程それを必要とするための同士の数が多いに越した事はないと思われるのはR I会長として当たり前の事だと思えます。彼はただ数を増やして欲しいと云う事だけを云われているのではなく、いい仕事をするための同士を増やして欲しいとおっしゃっております。数を増やすのといい仕事をするための同士を増やすのでは全然内容が違ふと私は思っております。この会員増強に關しましての国際ロータリーで起こっております現象をお話させていただきます。そうしますとグレン・エステスさんが申して、いい仕事をするための同士を増やして欲しいという意味がもっと明らかになってくると思えます。

今国際ロータリーの中で、国別に云いますと会員を一番増やしているのはドイツで、ここ数年ずっと右肩上がり増やしており、昨年度にとりましては世界の中で一番数を増やしました。

一番減らしておるのが我が国日本であります。ここ数年ずっと右肩下がりで減らして参りました。昨年度實質にしましても世界で一番マイナスが多かった国です。アメリカがマイナスが多かった2番目であります。しかしアメリカの場合は39万人ロータリアンがおるわけでございます。10万6千人の日本に比べましたら3倍以上です。そういう3倍以上をもちましてもアメリカの方が減らし方が少ないのです。マイナス率が少ない。それ程日本が減らしてしまった訳です。皆さんもお考え頂いたらもう簡単に同じように思われると思えますが、ドイツと日本は非常によく似た国だと私は思えます。経済的な能力と致しましても、国民性から見ましても非常によく似た国だと思えます。DNAと申しますか遺伝子もお互い素晴らしい物を持っておりますし、あらゆる面で日本と似ている、その似ている国が国際ロータリーの会員数という現象におきましては全然正反対です。

一方は世界で一番増やした国で、一方は世界で一番減らした国です。何故か？何故そういう結果が出てしまったのか、私の分析をお聞き頂きたいと思えます。

ドイツは各クラブが入会基準を厳しくしようと申し合わせて、こここのところずっと非常に厳しい入会基準でなかなか入会できないそうです。そうしますとおかしなもので人間というのは入りたくなる。あの厳しい入会基準をクリアして入会したいという人が増えてきて、退会者が出てこない。加えまして市民の皆さん方がロータリアンを尊敬し始め、クラブの皆さんも自分に誇りを持たれます。日本は逆に非常に入会基準を下げて参りました。それはロータリーのルール自身が非常にルーズになりまして、例えば職業分類にしましても1905年以来ポールハリスが設定した一業種一人だったのに、それを緩めてしまい一業種五人にまでなり、クラブの人数によってはまだプラスアルファできるということです。

(次ページへ続く)

その時どういう結果があるかと申しますと代表意識を持つという事が非常に大切な事だと、私はこの町でこの業種の代表であると誇りを持つのが非常に大事な事だと思います。沢山の事はこの計測的なルールに基づいて作られています。

例えば職業奉仕、職業奉仕に纏わる綱領を見ますと一つは道徳的な基準を上げるようにしましょう。道徳的な基準を上げるために持っている格言・哲学・考え方をあなたがあなたが代表する業種の皆さん方にそのメッセージを伝えて下さい。これが職業奉仕活動の一つであります。ロータリーの良い所を自分の同業者に伝えて宣伝することです。

職業奉仕のもう一つは、自分の職業を品位あらしめることに努力することも重要であります。職種の代表として自分の人格を高めていく努力をしようと、そして自分たちの職業の全体の品格を上げていく模範となる。これは代表者としての自覚そして誇りであります。従いまして私たちが職業奉仕、職業奉仕と云っておりますが、その職種の代表としての意気込みが失われて来ている。ですからクラブの入会基準を高めてもう一度誇りを取り戻すのも新しい考え方だと思います。そしてドイツはそれを実証しています。貝塚RCにおかれましてもそういう新しいステップに足を踏み出すための新しい形をお考えになる時に、どうすればもう一度昔のように今よりも高い誇りをクラブに持てるか、昔のように今よりも高い尊敬の目を持ってくれるかを一つの基準としてそういう方向に貝塚RCが向かいますようにご検討頂きたいと思えます。

グレンさんの願いは、会員を増やして欲しいという事は、自分のクラブに誇りを持つ、市民から尊敬の目で見られるような、そういう同士を増やして行って下さいと云われています。

二番目の願いはロータリー財団への協力です。そう云いますとまず皆さんは「寄付だなあ」と思われると思いますが、そうではありません。

ロータリー財団は私たちの財団であります。だったら何のために存在するのか？これは私たちが国際奉仕と云うものを活発的に行うための道具です。国際奉仕をやると思ってなかなかそういう機会に恵まれない可能性があり、こういう道具を使って国際奉仕をし易いようにしようと誕生して成長してきたものです。ガバナーを通じてその道具がどの様なものがあって、どの様に便利か、どの様に使い勝手が良くて、どの様に存在価値があるかを再認識して頂くよう云われて来ました。11月は「ロータリー財団月間」です。ロータリー財団という道具の中では奨学金システムが非常に有用だと思います。国際親善奨学生を選び外へ出す、また外からも受け入れるという形で国際理解を深めるプログラムです。実際毎年15~20人海外に出しておりますが、その国際親善奨学生が一年間にどれだけ成長するか、本当に具体的に説明できない位の成長ぶりです。先日クラブの会長並びに委員長に和歌山で帰国報告を聞いて頂きました。大学生がわずか一年間アメリカへヨーロッパへアジアへ行ったそのお陰

でどれだけ成長したか驚くばかりで非常に感動的であります。ロータリー財団という道具の良さを知って頂くために、帰って来た学生の中から最低一人のお話を聞いて頂き、素晴らしい事を実感して下さい。

三番目はポリオの撲滅に関してです。ポリオ撲滅運動は19年間続けています。未だにまだ発生しています。ナイジェリアが殆どで800件ほど発生しています。インドはもう69件ほどに減りました。「2000年までにゼロにしてそれ以後もゼロを続ける」ということを皆様にお約束し、2005年6月のシカゴでの世界大会で、皆でこの地球上からあの忌まわしいポリオをなくした喜びを分かち合おうと云ってましたが未だに発生しております。

しかし、毎年50万件発生しておりましたポリオが今はもうその0.2%位まで来た訳です。もうゼロは直ぐであります。来年のシカゴ大会に間に合いませんでも近い将来ゼロになります。そして発生ゼロを続けて「地球上からポリオをなくしてしまおう」という運動をしている自覚をお持ち頂き、ゼロにご協力を頂きたいと思えます。金銭的な協賛は殆ど必要はなくなりました。私共の地区は世界でも一番進んでポリオ撲滅運動の為に金銭的な支援をやって参りました。

もう地区からは支援は致しません。しかし、想いだけはまだポリオ撲滅運動の最中にある、何としてでもゼロにしようと強い気持ちだけは持って頂きたいと思っています。

財団は色々なプログラムを作りますが活用しなくては意味が無いので、皆さんの地域からも有能な国際親善奨学生が出るよう足を踏み出して頂きたい。GSE(財団研究グループ)も一緒であります。4人のロータリアンでない優秀な青年と団長の5人で海外へ5週間前後、各年で派遣し合ってその国の文化等々を勉強し、また、色々な職業研修などを経験し帰って参りませぬ。向こうからも参ります、今年度はブラジルからです。昨年度は日本からブラジルに向かいました。来年度は本部のありますエバンストンの周辺の地区へ派遣を致します。その次の年は向こうからのチームを受け入れます。こういう団員も皆様方の地域社会からお出し頂く努力を頂きたいと思うのであります。GSEはわずか5週間前後であります、やはりこれも驚くほど非常に成長致します。こういう体験をさせるチャンス是非地域の方に与える努力をして頂きたい。皆さんのクラブから団長を出して頂いても構いません。私も今から20年ほど前にタスマニアへGSEの団長として参りましたが、未だに交流をしております。団員として行かれた方も今でも同じような交流をしておられます。折角のプログラムですので生かす努力をして頂きたい、またそういう有意義なプログラムを実際ものにするには財政的な支援もいるとお考え頂きご支援を頂きたいと思えます。まずプログラム、私たちの道具の存在を良くご理解頂きまして生かす努力をして頂きたい、そして生かすには資金もいるなど云う事でご援助を頂きたいと思えます。

中島ガバナーをお迎えしてのクラブアッセンブリー



優勝

奥田 稔 会員

南輪会ゴルフコンペ

開催日：10月21日(木)

場所：泉南C.C.

ホスト：泉佐野RC

